

(様式1)

令和6年度 学校経営計画

1 学校教育目標

「学力の充実 品性の陶冶 心身の鍛錬」

＜育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）＞

- (1) 豊かな人間性をもった人を育成する
- (2) 自らの進路を切り拓いていく人を育成する
- (3) 新しい社会を共創し、未来の日本と世界をリードしていく人を育成する

2 学校の特徴

本校は、大正9年に富山県立神通中学校として創立され、開校以来の全人教育の理念と、「鍛錬・自治・信愛」の伝統的精神を継承し、豊かな人間性を持ち、自らの進路を切り拓いて、未来の日本と世界をリードしていく人の育成に努めている。

校舎は富山市の中心街に近く、閑静な住宅・官庁街に位置しており、豊かな自然環境にも恵まれ、神通川の清流に臨み、立山連峰の雄姿を仰ぎ見ることができる。

本校には、3年普通科5クラス200名、1・2年普通科4クラス160名、探究科学科（理数科学科・人文社会科学科）2クラス80名が設置されており、高い能力と強い向上心を持つ生徒が県内広くから集い、勉学、部活動、学校行事等を通して切磋琢磨している。

文部科学省の研究開発事業であるスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定はⅢ期目となり、過去10年で築き上げた指導体制をさらに洗練し、理数・探究的な教育について富山県の教育をリードする役割が求められている。また、新しい社会を共創する人材を育成するため、アメリカ研修、SSHオーストラリア研修、中国東北育才学校との交流などを実施するとともに、各種講演会等を通して、広い視野と専門的な知見を得られるよう進めている。

3 学校の現状と課題

生徒は、課題研究をはじめとする探究的な学習や、体育大会、文化祭などの学校行事に意欲的に取り組むとともに、ホームルームでの討論会、読書の時間を通して、思考力・判断力・表現力を高めている。また、大学探訪や進路講演会などにより、将来の生き方を考え、自らの進路を切り拓いていく力を育んでいる。さらに、国際交流を通して、新しい社会を共創するための資質を身につけている。

生徒がこうした活動を自主的に行うよう促すため、教員は生徒との対話を重視し、本校における指導のあり方について研究、実践を進めている。

こうした現状を踏まえた課題は以下のとおりである。

- 全人教育の理念と「鍛錬・自治・信愛」の伝統的精神を継承し、心身ともに健康な生徒を育成すること。
- 毎年新たに迎える生徒の実態や社会情勢や要求を踏まえ、高い理想のもと、あらゆる教育活動の改善を図りながら一層充実させること。
- 海外研修や国際交流等の行事や事業のあり方を工夫し、それらのねらいを達成するよう努めること。
- 校務分掌の業務内容や業務分担を整理し、組織が機能する体制をつくること。
- 各校務分掌や事務部が連携し、全職員によって計画的かつ組織的に教育活動を推進すること。

(様式2)

4 学校教育計画

項 目		目 標 ・ 方 針 及 び 計 画	
(1)	校務運営 (Eその他)	目標	<ul style="list-style-type: none"> ○全教職員が教育目標の達成を目指して連携協力し、3年間の見通しを持って教育活動を行う。 ○校務分掌の業務内容等を整理し、ICTの活用を積極的に進めるなど業務改善を進める。 ○教員が心身ともにゆとりをもって教育活動に臨むことができるように工夫する。
		計画	<ul style="list-style-type: none"> ○3年間のグランドデザインを共有して教職員相互の協力態勢を強めるとともに、保護者や学校評議員とも本校の教育活動の状況について意見交換を行うなど、風通しのよい教育活動を行う。 ○業務の精選や平準化、ICTの活用など負担軽減に努める。 ○会議資料の工夫や事前共有を図り、会議回数の削減、会議時間の短縮に努める。
(2)	教育課程 (A学習指導)	目標	<ul style="list-style-type: none"> ○教育目標の実現を目指し、生徒の全人的発達を促す教育課程を編成する。 ○生徒の進路希望をかなえるため、学力の充実をはかる教育課程を編成する。
		計画	<ul style="list-style-type: none"> ○学力の充実はもとより幅広い人間性の育成や健康、体力、安全に関する指導の充実をはかる教育課程を編成する。 ○生徒の学力の状況や大学入試に関する情報を的確に把握し、教育課程の編成に反映させる。 ○国語・理数・探究活動に関わる学校設定科目を研究し、改善を図る。 ○令和4年度から実施された高等学校新教育課程(新課程)のカリキュラムを評価し、改善点があればよりよいものにする。
(3)	学習指導 (A学習指導) 重点1①② 重点5①	目標	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の学力を向上させる。 ○生涯にわたって主体的に学び続ける姿勢を養う。
		計画	<ul style="list-style-type: none"> ○定期的に互見授業を実施し、授業の水準を高める。 ○生徒が計画的に学習できるよう各教科で定期考査にあわせた授業計画表を提示する。 ○新入生に対し、高校での学習方法・習慣を早期に確立させるための初期指導として、新入生合宿及び学習に関するオリエンテーションを実施する。 ○少人数授業や個別指導を通して、きめ細かい指導を行う。 ○生徒が主体的に学習できるようにアクティブラーニングの手法を活用する。 ○学習効果を高めるためのICTの活用を積極的に行う。 ○テストの見直しを喚起し、学習内容の理解・定着に役立てる。 ○面接指導を充実し、学習意欲の向上に努める。 ○探究的な活動を通して、生徒に主体的に学ぶ姿勢を身につけさせる。 ○課題を精選し、生徒が自主的に学習を進めることができるよう指導する。 ○全ての教科で学期毎に指導を振り返り、今後の指導の改善に役立てる。 ○行事を見直し、授業時間確保に努める。 ○授業時間が不足する教科は、特別編成授業を工夫するなど授業時間の確保に努める。
(4)	進路指導 (C進路指導) 重点2①②	目標	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒一人一人に明確な進路目標を見つけさせる。 ○進路目標の実現に向けて主体的に努力できる生徒を育む。
		計画	<ul style="list-style-type: none"> ○「大学探訪」や「卒業生に学ぶ会」を実施し、将来の具体的なビジョンを構築させ、意欲を高めさせる。 ○「進路講演会」や「海外研修」等を通して視野を広げ、将来の可能性について、男女や文理など既存の枠組みにとらわれることなく、より広く深く考えさせる。 ○SSHの取り組みや、大学等と連携した探究的な学習活動・体験の機会を利用し、大学での学びについて具体的なイメージを抱かせる。 ○既卒生への対策を充実させ、本校卒業後も高い志望に向かって学習に集中できる環境を構築する。

(5)	生活指導 (B生徒指導)	目標	○品性の陶冶、豊かな人格の形成をはかる。 ○「生活あつての学習」を基本とし、生徒に規律ある生活を確立させる。
		計画	○全職員で生活指導（基本的生活習慣の確立、遅刻の防止、端正な服装、交通ルール、マナーの遵守、身体・生命の安全への認識の向上等）を日常的に行うとともに、個々の生徒の状況に応じた個別指導を行う。 ○挨拶、正しい言葉遣いを実践させる。 ○さわやか運動への積極的参加を呼びかける。
(6)	心身の鍛錬 (読書指導と 体力向上) (B生徒指導) 重点3①②	目標	○図書館利用や読書運動を通して、読書意欲を育て、読書習慣を確立させる。 ○「読書の時間」で幅広いジャンルの読書をおこない、読む力及び表現力を育成する。 ○生涯にわたる生活の基本となる体力を養う。
		計画	○「読書の時間」を充実させ、読書運動を推進する。 (必読図書・選択図書の選定、読書記録ノートの使い方や読書会の指導) ○蔵書検索システムの利用を推進し、探究的な学習活動や読書活動等で図書館及び図書資料の利活用を促進する。 ○全学年、体育の授業時にサーキットトレーニングを実施する。
(7)	特別活動指導 (D特別活動) 重点4①②	目標	○学校行事を充実させる。 ○部活動を充実させる。 ○ホームルーム活動を充実させる。 ○生徒会活動を充実させる。
		計画	○競技大会・体育大会・文化祭・コーラスコンクール等の学校行事が、人間的な成長の場となるように積極的に取り組ませる。 ○部活動が安全で活発に行われるように環境を整える。 ○ホーム担任の十分な援助・助言・指導のもとにロングホームを自主的に行わせるなど、ホームルーム活動の活性化に努める。 ○生徒会活動を活性化させ、生徒が主体となって学校行事を運営するように努める。
(8)	教育相談 (B生徒指導)	目標	○生徒の抱える問題、悩み等に適切に対処できる教育相談を行う。 ○悩みや問題を抱える生徒の早期発見に努める。
		計画	○普段からカウンセリングマインドを持って生徒に接するとともに、スクールカウンセラーの指導・助言を受けるなどして、個々の生徒に応じた教育相談に努める。 ○生徒に気になる変化が見受けられる場合は、学年・保護者との連携を密にし、連絡をとりながら適切な教育相談を行う。
(9)	保護者との 連携 (Eその他)	目標	○保護者との連携を強める。
		計画	○1、2学期末に保護者懇談会を開くとともに、年に1度授業参観を実施する。 ○5月に学年懇談会、8月に進学懇談会(3年)を実施する。 ○一斉メール配信システム「安心安全メール」を活用する。 ○必要に応じて家庭訪問を実施する。
(10)	1学年 (Eその他) 重点1② 重点2①	目標	○本校生にふさわしい生活習慣・学習習慣を身につけさせる。 ○自分の進路について考えさせ、将来に向けて長期展望を持たせる。
		計画	○新入生合宿などを通して、生活のあり方、学習の仕方を指導する。 ○大学教授をはじめ社会人による講演会や進路講演会、SSHの取り組みにおける実習や課題研究などの機会を通して、進路意識の高揚をはかる。
	2学年 (Eその他) 重点2①② 重点4①②	目標	○精神的自立を促し、進路実現のための意欲と学力を身につけさせる。 ○中堅学年として、集団における自分の役割を自覚させ、自主性や行動力を育む。
		計画	○「大学探訪」や「先輩に学ぶ会」で進路についての意識を高めるとともに、課題研究や大学実習で探究心を養い、学習意欲を向上させる。 ○学校行事、委員会活動、部活動、さらには校外の活動にも積極的に参加させ、リーダー性や協調性、自己発信力を育む。
	3学年 (Eその他) 重点1② 重点2②	目標	○高い目標達成に向け粘り強く努力させる。 ○仲間や社会のために貢献する意識を高めさせ、社会に有為な人材を育成する。
		計画	○ホーム担任、教科担当が生徒との面接指導を繰り返すことにより、高い志と継続的な努力によって、第一志望大学を譲らないという強い意識を持たせる。 ○部活動や諸行事を通して、リーダーとしての自覚と責任を持たせ、広い視野を持ち自ら考えて行動する態度を養う。

(11)	国際交流 (Eその他) 重点2①	目標	<ul style="list-style-type: none"> ○実践的英語力を高め、国際社会で自己発信できるリーダーを育成する。 ○国際交流を通して友好親善を深め、国際性を養う。
		計画	<ul style="list-style-type: none"> ○アメリカ研修を継続して実施し、英語による「自己発信力」を高める。 ○中国遼寧省の東北育才学校との交流、オーストラリア研修を継続して実施し、授業参観や課題研究発表を通して、意見交換ができる研修にする。
(12)	広報活動 (Eその他)	目標	<ul style="list-style-type: none"> ○広報活動を積極的に行い、本校の教育について、広く知ってもらう。
		計画	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校に対する説明会、及び中学生対象のオープンハイスクールを実施する。オープンハイスクールでは、本校生徒が活躍する場を積極的に設け、中学生にアピールする。 ○学校行事の写真をPTA通信、生徒会誌、生徒会新聞、ホームページの更新などに有効利用するため、学校行事の画像データを集積する。 ○ホームページの更新をこまめに行い、本校の教育活動を地域や保護者に広く発信し理解していただくことで、教育活動を活性化させる。 ○SSH事業についてSSH通信やホームページ等を利用して、生徒や保護者だけでなく、広く一般に発信する。
(13)	探究教育 (Eその他) 重点1① 重点5①② ③	目標	<ul style="list-style-type: none"> ○探究的な学習を通して、探究教育の実践と研究を進める。 ○文系・理系の枠を超えて、「探究力」と「STマインド」を育成する。 ○高度なデータリテラシーを身につけさせる。
		計画	<ul style="list-style-type: none"> ○「探究モジュール」を普通教科に拡大する。 ○教科横断型授業「中部アカデミックス」を実施する。 ○データサイエンスを扱う授業を実施する。 ○外部連携を進め、かつ、文理融合のグループで社会課題を解決するための課題研究を行う。 ○発表会や授業を通して、他校との交流を深め、質の高い課題研究、学習を行う。 ○大学等の諸機関と連携し、個々の生徒の興味・関心や進路に応じた実習を実施する。